

社会を明るくする運動に参加して

仙台市立岩切中学校 二年 友重 春琉

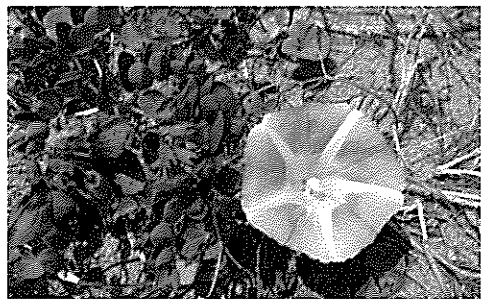
コロナ禍を経て四年ぶりに対面で開催された社会を明るくする運動に、この夏バネラーの一人として参加させて頂きました。シンガーソングライターの伊東洋平さんをゲストにお迎えし、洋平さんの素晴らしい歌声に会場が心一つになるようでした。登壇したディスプレイでは、自分の考えている事を皆さんの前で発表し、大人の方々の貴重なお話も沢山伺う事ができた、とても有意義な意見交換の場になりました。



この数年僕たちは、人と会う事を制限され、学校にも行けない日々を過ごし、オンラインが当たり前の世の中を経験。しかし本当に大切な事はリアルで伝えるからこそ相手の心に伝わり、相手を思いやる気持ちやその熱量も、リアルにはかなわないのだと、今回対面での参加を経験して強く感じました。この夏、地域のお祭りや行事も復活し、やっと僕の住む地域にも本来の賑やかさが戻りました。自分の住む地域や社会を明るくするために、目の前の一人一人。地域の一人一人を大切に。思いやりの声や優しい声を掛け合いながら、これからも友人や家族、地域の方々々と心を強く結んでいきたいと改めて思っています。

ふじぎな花とハマヒルガオプロジェクト

仙台市立岡田小学校 五年 山内 優奈



南蒲生の浜辺に着いて、少し歩いたら、花が咲いているのが見えます。そこは私が一番好きな場所です。またその先を少し歩いて行くと、ハマヒルガオやウランなどのいろいろな浜辺植物の花が咲いています。そのような花を見ることが出来る「エンヤコラハマヒルガオプロジェクト」に、私は参加しています。この活動は、花を観察するだけでなく、ごみ拾いをしたり、浜辺に咲いている花の種を拾ったりもします。このような活動が行われるようになったのは、東日本大震災の津波で、浜辺で大部分の浜辺植物がなくなってしまったので、もう一度元の浜辺を取り戻したいとなったことが始まりです。私はこの活動に参加して、浜辺のごみをたくさん拾いました。そうしたら、私は少しはきれいになったのではないかと思います。おやつを食べたり、種拾いをしたり、また、鬼ごっこをして遊んだりもしました。とても楽しい活動です。六年生になってもハマヒルガオプロジェクトに参加して、いっぱいごみを拾ってきれいにし、種もいっぱい拾って、このハマヒルガオプロジェクトを素敵な思い出にしたいです。

社 明 みやぎの

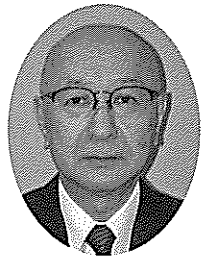
(社会を明るくする運動)宮城野区推進委員会

会報 第26号
令和6年1月1日
発行責任者 社会を明るくする運動 宮城野区推進委員会
委員長 小松 啓祐
事務局: 宮城野区 保健福祉センター 家庭健康課

「社会を明るくする運動」に「理解を

社明宮城野区推進委員会

委員長 小松 啓祐



あけましておめでとうございます。日頃より「社会を明るくする運動」にご協力を賜り心から感謝申し上げます。「社会を明るくする運動」は犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。この運動は法務省が主催し、国や地方公共団体と、地域に根ざして活動している社会福祉協議会、防犯協会、民生委員児童委員協議会、町内会、青少年健全育成連絡協議会、保護司会、更生保護女性会などの民間団体が一体となつて実施しています。各地区では「社会を明るくする運動推進委員会」を組織し、それぞれに広報啓蒙活動を行っております。

この運動の目指すところは、犯罪や非行を防止し、安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を築くことであり、その実現のために犯罪や非行をした人が再び犯罪や非行をしないように、その立ち直りを支えていく環境を整えることです。新たな被害者を生まないためにも、地域での安全で安心な生活を保つためにも、生きづらさを抱えながらも立ち直りのために努力するすべての人々を、見守り、支える地域社会の温かいところが必要です。今年もまた活動を進めて参ります。「社会を明るくする運動」の趣旨をご理解いただき、更なるご協力をお願い申し上げます。

明るい社会を目指して

宮城野区長 武山 広美



新年あけましておめでとうございます。犯罪や非行がなく誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて、日々ご尽力くださっている「社会を明るくする運動宮城野区推進委員会」の皆様へ、改めて敬意を表しますと共に深く感謝申し上げます。

昨年七月の社明強調月間において、JR陸前原ノ町駅前前で実施された街頭広報活動に私も一緒に参加させていただきました。委員の皆様は早朝より準備に取り組み、通勤通学途中の方々へ熱心に社明活動と呼び掛けていらっしゃいました。広報活動には地域の幅広い年代の方が参加されており、コロナ禍を経て、地域の中で社明の活動が着実に受け継がれていることを強く実感致しました。また、区内八つの地区においても、街頭キャンペーンや小・中学校との連携事業など、地区の特性を活かして積極的に活動を展開されていらっしゃるのと同様に、宮城野区としても、市民の皆様が安心して暮らせる街づくりに引き続き努めてまいりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

受賞おめでとうございます

〇第七十三回宮城県推進委員会委員長感謝状贈呈者
飯田 勝男 様 (鶴ヶ谷地区)
中根 洋子 様 (幸町地区)
米山 裕美 様 (東仙台地区)

〇第七十三回仙台市推進委員会民間協力功労表彰者
飯田 勝男 様 (鶴ヶ谷地区)
中根 洋子 様 (幸町地区)
米山 裕美 様 (東仙台地区)

私たちが担当しました

- ▼岩切地区 佐久間松子 ▼東仙台地区 米山 裕美
- ▼幸町地区 佐木真実子 ▼原町地区 千葉 澄子
- ▼鶴ヶ谷地区 鈴木 良子 ▼高砂地区 高橋由加里
- ▼宮城野地区 櫻澤 洋美 ▼鶴ヶ谷地区 小川 秀子

編集後記

令和五年の夏頃、国連の事務総長グテレス氏が、地球沸騰化という表現をしていました。猛暑日・真夏日が続く、熱中症対策の最中にコロナとインフルエンザの同時流行と気の抜けない一年だったような気が致します。令和六年は明るい社会になりますようにと願わずにはられません。最後になりましたが、お忙しいなか、原稿をお寄せ頂き第二十六号社明みやぎのを発行する事が出来ましたことを感謝申し上げます。(社明宮城野地区推進委員会委員 櫻澤洋美)

社 明 みやぎの

令和5年度一年間のあゆみ



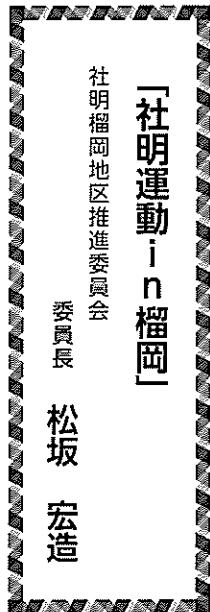
- 5月 宮城野区推進委員会協議会
- 6月 宮城野区推進委員会役員会
宮城野区長に内閣総理大臣メッセージ伝達
「社会を明るくする運動強調月間」
社明フェスティバルみやぎ規模縮小のため不参加
仙台市青少年健全育成講演会
教育機関連携事業として榴岡小学校にて社明に関する講話及び社明書籍の朗読並びに社明啓蒙物品の配布榴岡地区
JR陸前原ノ町駅前にて街頭広報活動
宮城野コミュニティセンターにて
ビデオ上映・講演会(宮城野地区)
原町小学校・宮城野中学校にて講話及び
鶴谷・西山中学校にて標語募集並びに優秀作品を掲載したチラシ作成による啓蒙活動(鶴ヶ谷地区)
楽天命パーク正面玄関前にて街頭啓蒙活動及び
榴岡天満宮境内にて街頭広報活動及び演奏会(榴岡地区)
JR民福町駅・高砂駅中野駅前にて街頭広報活動(高砂地区)
岩切小学校にて社明に関する演奏会及び講演会(岩切地区)
クリーン大作戦IN岩切にて啓蒙活動(岩切地区)
高砂市民センターにて社明に関する講演会(高砂地区)
鶴ヶ谷市民センターにて社明に関する講演会(高砂地区)
10月 広報物品による啓蒙活動(鶴ヶ谷地区)
東仙台地区小中学校にて啓蒙物品及びチラシによる啓蒙活動(東仙台地区)
高砂市民センター祭りにて啓蒙活動(高砂地区)
11月 「子供・若者育成支援推進強調月間」
仙台市青少年フェスティバル
宮城野区民まつりにて啓蒙活動
東仙台中学校にてプラスチックのついで(東仙台地区)
幸町市民センター祭りにて
2月 広報チラシによる啓蒙活動(幸町地区)
福室市民センター祭りにて啓蒙活動(高砂地区)
宮城野区青少年健全育成講演会(予定)

「社会を明るくする運動」って何?

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

再生紙を使用しています。

今年度は七月十一日(火)に榴岡小学校の体育館に於いて五年生と六年生を対象に「社会を明るくする運動」とは何かを授業の一環として学校の協力をいただき勉強いたしました。講師の関口真爾副委員長から社明運動は



「社明運動in榴岡」
社明榴岡地区推進委員会

委員長 松坂 宏造

「希望を胸にたくましく生きていこう」とする心意気を育てることができると考えます。今回は雄勝中学校のご厚意により当時、雄勝中学校の生徒が実際に使用したタイヤ太鼓を三台、お借りすることもできました。十一月十一日、当時の雄勝中生徒たちの心情に思いを馳せ、六年生は心ひとつに演奏に打ち込んでくれることでしょうか。



ことに勝るものはありません。震災からまもなく十三年。生まれ育った土地や環境は違っても、当時と同じタイヤ太鼓で「伊達の黒船太鼓」を叩かせていただくことで、本校の六年生にも

『合唱とブラスバンドの集い』

社明東仙台地区推進委員会
保護司 加藤 博之

東仙台地区は、東仙台・新田・燕沢・西山の四学区から構成され活動しています。

一大イベントとして、毎年十一月の第二土曜日に地域の小中学校で活動しているブラスバンド部や合唱団を招いて『合唱とブラスバンドの集い』を開催しています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、二〇一九年を最後に開催中止を余儀なくされてきました。

この号が発行される頃には、四年ぶりに開催されていることでしょうか。

新型コロナウイルスの約三年半の間、子供たちは様々な制約の中、生活をしてきました。



行事は、中止や規模の縮小を余儀なくされ、楽しい思い出になるはずが、複雑な記憶として心に刻まれたことと思います。昨年は、東仙台中学校と新田小学校のブラスバンドが東北大会出場・

東仙台中学校のマーチングバンドが全国大会出場と輝かしい活躍をしました。地域を明るくし、犯罪のない社会環境を目指すには、地域住民同士の繋がりと余裕やゆとりある豊かな心が必要だと思えます。『合唱とブラスバンドの集い』を通して、明るい社会になれば幸いです。

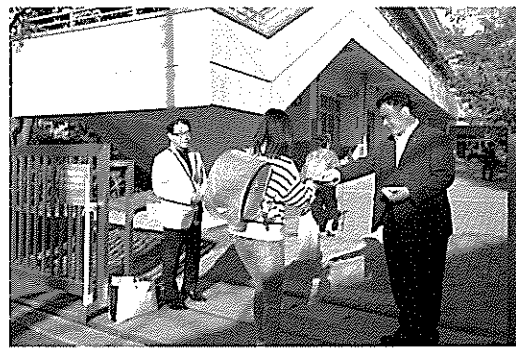
私たちの社明活動

社明原町地区推進委員会

副委員長 渡辺 博

「おはようございます。」元気な声が返ってきます。今日は始業式です。校門前は賑やかにあります。地元原町小学校の校門に立ち、登校して来る児童たちに挨拶する取り組みが恒例となっています。学校の授業の始まりが当日です。

今年度も二期の始め校門に立ちました。深々と頭を下げて挨拶をする児童、声掛けがきっかけになり会話をする児童、返事が苦手な児童、反応は様々です。何より学校に通って来



「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」であると社明のポスターをもとお話しをしていただき、また、絵を交えて裁判員制度や刑務所の説明をいたしました。その後、関口裕子さんから絵本「コウくんときいろいはね」の朗読をしていただき、絵本を通して児童には相手の気持ちを思いやることや、お互いに何か悩み事があれば助け合うことが大切であることをお話ししました。また、七月二十五日(火)の榴岡天満宮例大祭では榴岡小学校吹奏楽団の「天神の杜コンサート」を開催し、その際に来場者の方々に啓発物品を配布し社明運動を理解していただく活動をいたしました。私たちは、これからも子どもの健やかな成長のため様々な活動を各団体と一緒に進めて参ります。活動を通して社会全体で子どもたちを守っていく大切さを改めて感じたところです。

今後とも学校、地域と連携しながら引き続き社明運動を推進して参りたいと思えます。



その姿が愛おしく思います。児童は学校が大好きなんです。学校の存在の重要さを改めて思います。

子供の居場所づくりが話題になり、仙台市役所が中心となり、社会を挙げて取り組みが行われています。家庭、学校、児童館、塾、多様な居場所が必要です。一定の形が出来上がって来ましたが活かしていくためには社会を挙げての協力が大事です。私たち社明原町地区推進委員会は地道な活動を続けながら地域の支えの一員となっていきたいと願っています。

鶴谷小学校の「タイヤ太鼓」

仙台市立鶴谷小学校

校長 小田 暁

令和五年九月、元雄勝中学校長の佐藤淳一氏をお招きして、PTAと共催の「防災講演会」を実施しました。本校ではここ数年、学習発表会でタイヤ太鼓を披露しており、演奏は保護者からも好評を博してきましたが、子供たち自身に「タイヤ太鼓のルーツ」について教える機会が設ける事ができないでいました。講演会では、和太鼓が流された雄勝中の生徒たちが伝統を守ろうと代替でタイヤ太鼓を製作、その演奏は世界にまで広がっていった、という話をいただきました。震災の記憶を学ぶことに関しては、やはり直接お話を聞く

保護司活動への理解 (研修会取材)

編集委員 佐々木真美子



保護司は地域社会の中で、罪を犯した人たちの更生支援や、犯罪や非行の予防などの活動に携わっています。

保護司の方々が関係機関と協力しながら、日々研鑽を重ね、更生に手を差し伸べられている事に尊敬の念を深く感じております。

今回、保護司会主催の研修会を取材致しました。山谷澄雄弁護士を講師にお迎えして、『犯罪と保護司と弁護士との関わりと流れ』をテーマに講演会が進められました。

講演は特殊詐欺に関わる「犯罪意識が無い若者の心理」から始まり、国選弁護人の役割や仕事の流れ、『犯罪白書』を用いての多岐に渡るお話を伺いました。また、犯罪件数は平成十四年をピークに大きく減少している一方で、再犯率は減少しているとは言えないとお話でした。再犯防止の難しさを思い「再犯防止推進法」の支援と、更なる社会的連携と理解が一層望まれると感じました。保護司活動の大変さとその重要性を再認識した研修会でした。